

健康管理ツールを民間企業へ提供するモデル事業について （「マイME-BYOカルテ」を活用したCHO構想拡大事業）

1 マイME-BYOカルテとは

個人の活動量、身長、体重、健診結果、お薬情報等をパソコンやスマートフォンから記録・管理できるアプリケーションです。様々な健康情報を「見える化」することで、県民や県内にお勤めの方、あるいは県内企業の健康経営を支援する取り組みです。

2 モデル事業の概要

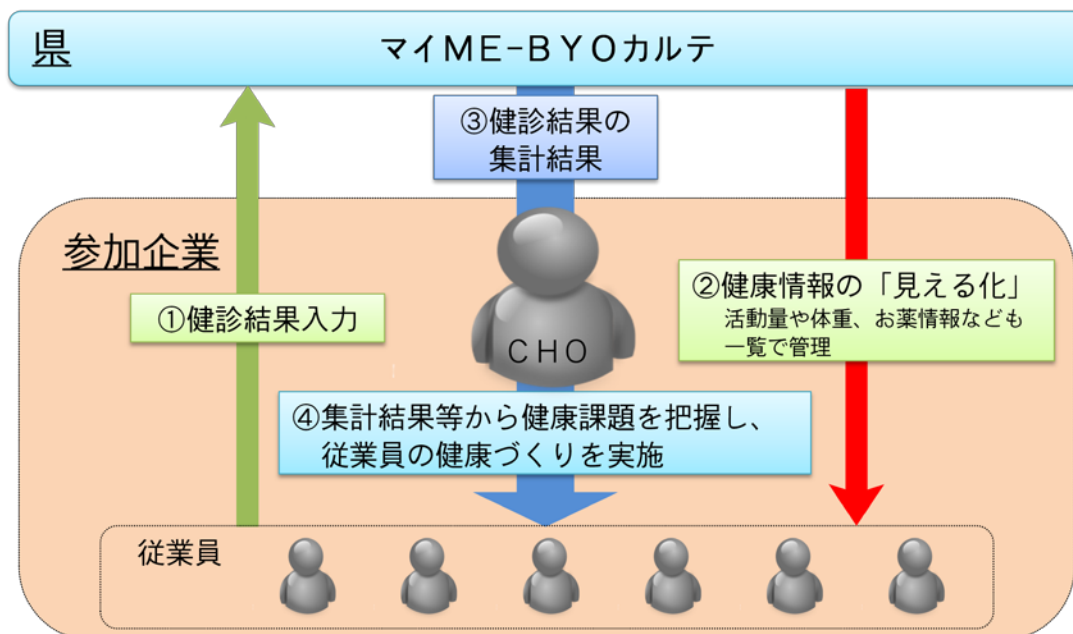
事業に参加いただく企業の従業員の方は、マイME-BYOカルテを御自身のスマートフォンなどにダウンロードし、健診情報（10項目程度）を入力して、御自身の健康管理に役立てます。

県は、入力された健診情報を企業ごとに集計し、県内全体の傾向と比較できるように加工して、参加企業のCHO*（又は健康管理部局）へ提供します。

企業はその結果を基に自社における健康課題を把握し、CHO構想（健康経営）の実践に活用します。

※企業や団体の従業員及びその被扶養者の健康づくりを企業経営の一部として位置づけ、従業員の健康マネジメントを推進する、組織内の「健康管理最高責任者」。

【モデル事業のイメージ】



県は、事業の事務局を委託し、原則としてその事務局を通して参加企業を募集します。

※500人以上の参加が見込まれる場合は、事務局を通さず、直接本事業に参加できます。

なお、新たに従業員の健康づくりに係るサービスや商品を導入した場合、平成 29 年度に限り、県は導入や運用に係る経費の一部を支援します（県負担割合 1 / 3、ただし上限あり）。

マイME-BYOカルテ及び健診結果の提供については、平成 30 年度以降も継続して行う予定です。